

## 被爆者が自らの体験を証言 平和の大切さを訴える

2月26日、「原子爆弾 目の前で起きたこと」（洞爺湖町非核平和のまちづくり実行委員会主催）があぶたふれ合いセンターで開かれ、約50人が参加しました。

講師の北海道被爆者協会会長の眞田保さんが自らの体験を語り、平和の大切さを訴えました。

眞田さんは、7歳の時に爆心地から1.5<sup>km</sup>離れた地点で被爆。姉を探しに母と一緒に رفتり、水を求めてさまよう人など当時の様子を生々しく証言し、「核兵器による

被爆者を二度と出してはいけない」と強く訴えました。



眞田さんの証言を真剣に聞く参加者たち

道の駅あぶたを経営する企業組合あぶたが製造している「ホタテ



クリームコロックを食べて笑顔の児童たち

入りクリームコロック」が、町内の小中学校の給食メニューに登場し、児童、生徒が喜びの笑顔を見せました。

同組合が、まちを代表する特産品を味わい、そのおいしさを知ってもらおうとクリームコロック計700個提供。3月2日は洞爺地区、3月9日には本町地区、温泉地区の小中学校の給食メニューに登場しました。

洞爺湖温泉小学校3・4年生の教室では、12人の児童がクリームコロックをおいしそうに頬張り、「衣がサクサクしていて、ホタテの味がしておいしい」と好評でした。

## ホタテクリームコロック 町内各小中学校の給食に

平成28年度  
冬季レクリエーション大会  
（洞爺湖町自治会連合会洞爺地区連合会主催）が、3月4日香川コミュニティーセンター体育館で行われました。冬の健康増進と会員同士の親睦を目的に会員約120人、15チームが参加しゲートゴルフを楽しみました。



高得点を狙ってショットを決める会員

同競技は、1チーム5人でスティックを使ってボールを打ち、3<sup>rd</sup>先にあるゲートを通り、更に3<sup>rd</sup>先に90<sup>deg</sup>間隔に刻まれた得点エリアに停止したボールの合計得点を競い合うものです。ゲートを通りできない人や高得点で笑顔の人など大いに盛り上がりました。

成績は次のとおり。優勝 6町内 準優勝 第1自治会A

## ゲートゴルフで熱戦 冬季レクリエーション大会

## 読み聞かせ楽しむ 図書室子どもまつり

3月11日図書室子どもまつり（教育委員会主催）が、洞爺総合センター図書室で約20人の園児たちが参加して開かれました。

当日は、たんぽぽの会の皆さんによる、「トンネルをぬけると」「えだまめきょうだい」「ぴっぽのたび」の3冊の読み聞かせのほか「3匹のこぶた」のパネルシアターや手遊びなどを行いました。

最後に、「劇場版ムーミン 南の海で楽しいバカンス」のDVDをみんなで鑑賞し、楽しいひとときを過ごしました。



読み聞かせに聞き入る園児たち

# まちのわだい

